



学校保健委員会

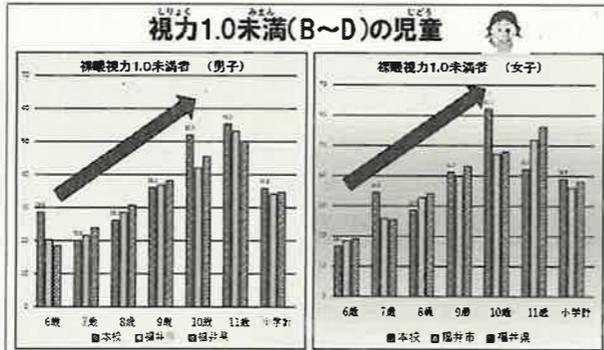
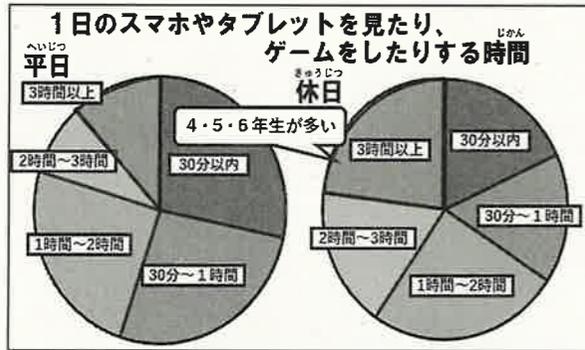
R7. 1. 10
福井市啓蒙小学校
保健室

12月19日(木)に学校保健委員会を開催しました。今年は「目の健康について考えよう」というテーマで、全校で目について自分の生活を振り返りました。山本学校医、千知岩学校薬剤師、黒川栄養教諭を講師にお招きし、目についてより理解を深めました。



< 保健委員会の発表 >

目のアンケート結果から、平日から休日になるにつれて、スマホやタブレット、ゲーム使用時間が増えていること、3時間以上すると答えた人が、平日休日ともに4年生・5年生・6年生で多くいました。また、本校の視力1.0未満の児童が学年が上がるにつれてどんどん増えていること、福井市、福井県と比べてみても視力の低下している児童が多くいることが健康の課題として挙がりました。実態を受けて、①使う時間 ②距離 ③姿勢 ④明るさ ⑤休憩 ⑥目の体操 ⑦外遊び ⑧睡眠の8つのことを取り組むことが、目の疲れをとり、視力低下を防ぐことにつながることを保健委員会で考え、伝えてくれました。



スマホ・タブレット・ゲーム・テレビ等合わせて2時間まで

*睡眠時間、食事時間、学校で過ごす時間、お風呂時間、遊ぶ時間などを除くと2時間が限度
*きちんとメディア接触時間をコントロールしている子どもの方が学力がよい
★基本的に「2時間以内」を「目安」として生活の中に取り入れる。

「ブルーライト」について眼科医の先生に聞いてみました

学校眼科医 原先生

ブルーライトとは、大きなエネルギーを持つ青い光のこと。スマホやタブレット、パソコンの画面からも出ていて、目の奥の神経の膜である網膜まで届くため、長く見ていると神経に負担になります。また、ブルーライトは、目の中で光が散らばるため、ピント合わせの筋肉にも負担になり、目の疲れや目の痛みの原因となっています。

目の体操

1年生の様子

「外遊びの大切さ」について原先生に聞いてみました

学校眼科医 原先生

外にいますと光を浴びますね。目に光が入ると、目の網膜はドーパミンをつくり出してくれます。ドーパミンは体と心を元気にして、目が長くなるのを防いでくれています。
★1日2時間。屋外活動近視の進行抑制に効果を得られる。

おうちの方といっしょによみましょう。

< 山本学校医からのお話 >



近視は軽度でも将来、緑内障や網膜剥離などの目の病気につながる。

< 千知岩学校薬剤師からのお話 >



まばたきが少ないと目が乾燥して視力が低下することにつながる。

< 黒川栄養教諭からのお話 >

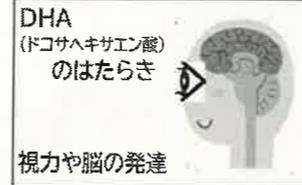


目に良い食べ物

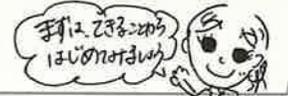
ビタミンA・・・緑や赤の濃い野菜(ほうれん草や小松菜、にんじん、かぼちゃ、ブロッコリーなど)
アントシアニン・・・紫色の濃い野菜(ナスや紫芋、紫玉ねぎ、紫キャベツ)

ドコサヘキサエン酸・・・鯖やいわしやマグロなどの皮の青い魚
アスタキサンチン・・・鮭などのオレンジ色の魚

★ドコサヘキサエン酸は頭がよくなる栄養素として知られていますが、脳とつながっている目の神経にも良いとされています。



「嫌いな野菜も目のために食べたい」「寝る1時間前にはスマホをさわるのはやめたい」など自分の生活を振り返り、目に良い生活を送ろうという気持ちが、発表や感想から伝わってきました。ぜひ、メディアルールも見直してみてくださいね。一生付き合っていく目は大切です。



1年 くら ぼん なまえ

まはこれからへやをあがるくしたりよいせいたり目を休めたりさいきんそとあそびをしていないからそとあそびが出来るようにがんばりたいです。あにがてないわいとこんどまじろがさういたけどこんどうせんしてみたいなとおもいました。いかんをきめてないからこんどはいかにして30分にするようにしまあしかりねないしおくをみてないからはやめはやおまことおもいまして。

2年 くら ぼん なまえ

わたしはブルーライトが目に入るとのうにまでとよくエネルギーをもっていることをはじめで知りました。ブルーライトのことを学校ほけんいん会の方が、てい学年にも分かるように、こまかくくわしくせつめいをしてくれたのではじめて聞いたブルーライトのことがよく知れたのでよかったです。わたしはタブレット、スマホを見る時に、きり三センチメートルはなれていないので気を付けてながら毎日すごそうと思いました。色いろなことが笑われたんです。

